

いわて



明日にトライ!

～いわてのチャレンジャーたち～

有限
会社
宇部
煎餅店

郷土名物「南部煎餅」を
全国区で愛される菓子へ



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

7月 -JULY-

- 6日 青森・秋田・岩手
3県合同商談会(東京都)
- 4日～5日 次世代マネージャー養成講座(金ケ崎町)
- 11日 いわて医療機器事業化研究会(盛岡市)
- 19日 ILC技術セミナー(盛岡市)

8月 -AUGUST-

- 3日～4日 工程改善基礎講座(北上市)
- 23日 いわて食の大商談会2017(盛岡市)

9月 -SEPTEMBER-

- 12日～13日 中堅マネージャー・
後継者養成講座 第1講(八幡平市)
- 21日～22日 ISO9001内部監査員養成講座(花巻市)
- 28日～29日 いわてアパレル企業
ビジネスマッチングフォーラム(東京都)

いわて農商工連携ファンド助成金公募のご案内 4

専門展示会等出展費用助成事業のご案内 4

情報関連専門展示会等出展費用助成事業のご案内 4

いわて産業人材奨学金返還支援基金に対する寄附のお願い 5

研修受講者募集のご案内 5

岩手県労働委員会委員による出前講座のお知らせ 6

新価値創造展2017出展のご案内 7

岩手県知財総合支援窓口からのお知らせ 7

平成29年度 設備貸与制度のご案内 8



郷土名物「南部煎餅」を 全国区で愛される菓子へ

久慈市 有限会社宇部煎餅店

岩手土産の定番として知られる南部煎餅。久慈市の有限会社宇部煎餅店は製造ラインの機械化により生産力アップとコスト削減に成功、「低価格で美味しい南部煎餅」を全国に送り出している。5月末には新社屋も完成、次のステージへと向かう宇部清三郎社長に事業戦略を伺う。

「美味しさ」の追求のため生産を機械化

岩手県と青森県東部の郷土菓子として知られる南部煎餅。藩政時代に誕生したとされ、今も八戸地域から岩手県北を中心に「手作り」「手焼き」をうたった昔ながらの煎餅店が数多く存在する。そんな中、久慈市にある有限会社宇部煎餅店では積極的に製造ラインの機械化に取り組み、安定的大量生産とコスト削減を推進。現在は日産50万枚という南部煎餅業界ではトップの生産力を誇りながら、なお需要は増えているという。

同社の創業は昭和22年。「風邪を引いた兄のために両親が手焼き煎餅を作ったのが最初」と、現社長の宇部清三郎氏はいう。その味が評判となり昭和41年には工場を建設、同47年には宇部社長が煎餅事業を引き継いだ。以来、先代からの教えである「煎餅はきつね色に焼け」を指針に、地域に愛される煎餅づくりに取り組んで来た。

機械化への挑戦も、美味しさを追求した結果だ。一般的な南部煎餅の生地には食感や色合いをよくするためデンプンやとうもろこし粉を

入れるが、同社のこだわりは小麦粉100%。「小麦粉は噛めば噛むほど『味』が出てくるから」と宇部社長はいう。しかし小麦粉の生地は熟成により「コシ」を生むグルテンが発生する。「生地を練り上げたらすぐに焼き、焼成時間も短縮できて食感も軽くなった」と、宇部清志郎専務は機械化の理由と成果を説明する。

同社の大ヒット商品である「こわれせんべい」や一斗缶での煎餅販売も、この機械化初期の段階で派生していた見た目の悪い煎餅の再利用から誕生。「味は正規品と変わらない。安くして販売したところ生産が追いつかなくなった」と宇部社長は言い、「失敗が成功につながった」と笑う。量産体勢が整うのと時を同じくして盛岡から東北、そして関西から九州へと一気に販路も拡大していった。

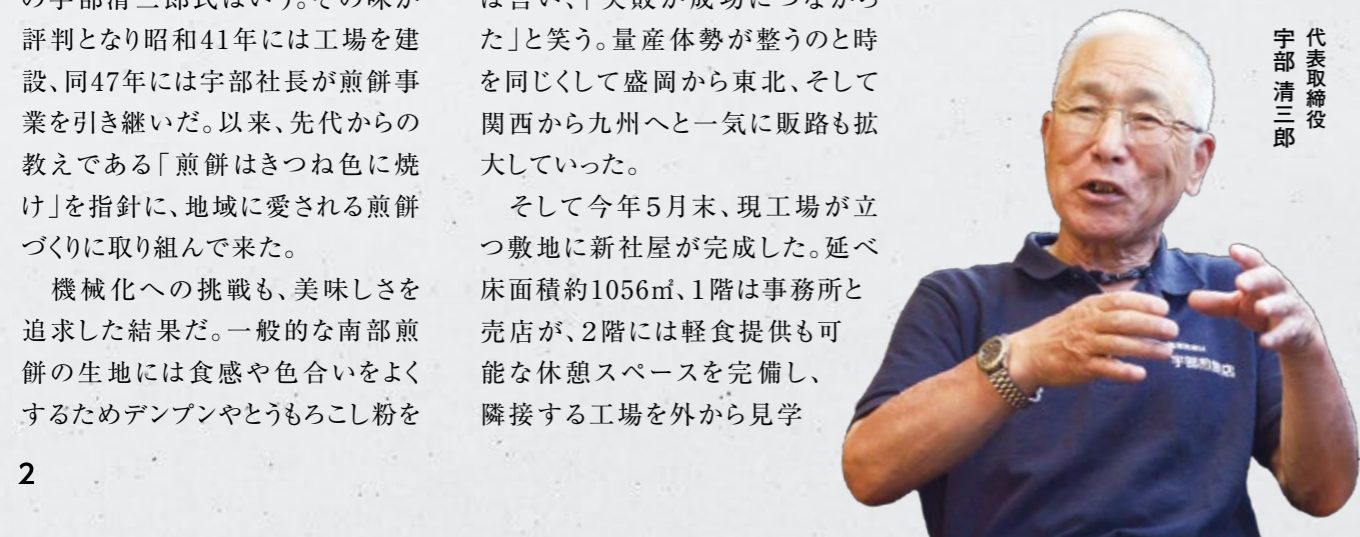
そして今年5月末、現工場が立つ敷地に新社屋が完成した。延べ床面積約1056㎡、1階は事務所と売店が、2階には軽食提供も可能な休憩スペースを完備し、隣接する工場を外から見学

できる通路を設置。機械化された南部煎餅の製造ラインを公開するのは業界初だが「南部煎餅の進化を見てほしい」と宇部社長。数年後に控えた三陸沿岸道路開通による新たなビジネスチャンスも視野に入っている。

現在、西日本では同社の厚焼きタイプピーナツ煎餅の売上が急増。「西日本で『煎餅』は米ではない、全国的にも小麦粉を使った菓子が多い。南部煎餅の販路拡大の余地はまだ十分あると考えています」。

目指すのは、スナック菓子感覚で気軽に食べてもらうことと宇部社長。南部煎餅の可能性は無限だ。

代表取締役
宇部清三郎



- ① 5月末に完成したばかりの新社屋2階の休憩スペースは約60人の収容規模。テラスから工場棟へ行くことが出来る。
- ② 新社屋外観。久慈市の新たな観光拠点としての期待も大きい。
- ③ 生産ラインはピーナツ、ごま等専用機として稼働。厚焼き・薄焼きで焼き方も変わる。
- ④ 見学路からは工場の生産ラインを俯瞰できる。ウッドデッキの気持ちいい空間だ。
- ⑤ コンピュータ制御された発送ライン。

宇部煎餅店の技術

量産化の原動力となった「こわれせんべい」。いつでも美味しく食べられるようにと包装ラインに窒素ガス発生装置を導入し袋に充填、酸化しやすいピーナツ煎餅の品質もキープ。パッケージも通常のものよりバリア性の高いフィルムを採用、品質にこだわっている。



宇部煎餅店の技術

現在のラインナップは定番のごま、ピーナツのほか生地にチーズを練り込んだごまチーズ等10種類。東北では薄焼きタイプが、関西ではクッキータイプの厚焼きが人気。また東北以南ではパッケージを変更、1袋4〜5枚入り100円というスナック菓子感覚の価格で提供している。この手軽さも支持されるゆえん。



いわて産業振興センター活用事例

自動南部煎餅焼成機やミキサーなど、当センターの設備貸与制度をこれまで10回以上利用。今年9月には最終工程に自動箱詰めラインを導入し、省力化に加え労働環境のさらなる改善を図る予定である。

企業データ

会社名	有限会社宇部煎餅店	創業	昭和22(1947)年1月
本社	久慈市長内町35-123-19	従業員	56名
電話	0194-75-3100	業種	製造・販売業
代表者	宇部清三郎	URL	https://ubesenbeiten.jimdo.com/

いわて農商工連携ファンド助成金公募のご案内

県内中小企業者と農林漁業者の連携による新たな事業展開の取り組みについて、助成金により支援します。

- いわて農商工ファンドとは** 県内中小企業者と農林漁業者の連携体が行う以下の取り組みを支援します。
- ①新商品等の開発または事業化
 - ②新商品開発に伴う販路拡大、市場調査、動向調査、人材育成
- 公募期間** 平成29年 6月26日(月)~7月24日(月)
※応募を希望される場合は、応募締め切り日の1週間前までに、申請相談をしてください。(必須)
- 助成限度額** 600万円
- 助成率** 4/5以内 (農商工連携事業計画の認定を受けている場合は助成限度額1,000万円)
- 助成期間** 平成29年10月1日(日)~1年間

今が
最終の
公募です

制度の詳細は ホームページをご覧ください。 joho@joho-iwate.or.jp 個別でも応募方法の説明等をいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 産業支援部 総合支援チーム 工藤・熊谷 ☎019-631-3823

専門展示会等出展費用助成事業のご案内

工業製品系専門展示会に出展を希望する県内中小企業に対し、センターが出展料、小間装飾費の一部を助成します。販路拡大や製品・技術の周知に活用のできる制度となっておりますので、奮って御応募ください。

- 対象** 平成30年3月31日までに開催される工業製品系展示会
- 助成率** 助成対象経費の1/2 **助成限度額** 150,000円
- 助成対象経費** 出展料、小間装飾費 **募集期間** 随時受け付けます。
- お申し込み** センターホームページより申込様式をダウンロード・内容ご記入のうえ下記Emailアドレス宛てにお申し込み願います。申込についてはホームページから要件詳細等をご確認ください。☎ torihiki@joho-iwate.or.jp

お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム 晴山 ☎019-631-3822

情報関連専門展示会等出展費用助成事業のご案内

ソフトウェア関連の分野を対象とした専門展示会に出展を希望する県内ソフトウェア関連中小企業に対し、センターが出展料、小間装飾費の一部を助成します。販路拡大や製品・技術の周知に活用のできる制度となっておりますので、奮って御応募ください。

対象	平成30年3月15日までに開催される情報通信関連産業系展示会
助成率	助成対象経費の1/2
助成限度額	200,000円
助成対象経費	出展料、小間装飾費
募集期間	随時受け付けます。

お申込み センターホームページより申込様式をダウンロード・内容ご記入のうえ下記Emailアドレス宛てにお申し込み願います。申込についてはホームページから要件詳細等をご確認ください。☎ torihiki@joho-iwate.or.jp

お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム 東野 ☎019-631-3822

いわて産業人材奨学金返還支援基金に対する寄附のお願い

岩手県では将来のものづくり産業を担うリーダーとなる人材の確保・定着を進めるため、大学などを卒業後、県内企業に一定期間就業した場合に奨学金の返還を支援します。一人でも多くの若者に県内へ定着してもらうため、産業界や経済界の皆様にもご協力をいただきながら、地域一体となって取り組んでいきたいと考えておりますので、この事業へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基金の規模 **2億円** (うち1億円は県が出捐済)

寄附金額	特典等
100万円以上	・知事名の特別感謝状の贈呈及び贈呈式の実施(年数回・報道機関へも周知)
60万円以上	・知事名の特別感謝状の贈呈 ・首都圏説明会等での企業情報発信等 ☆(ものづくり・IT企業に限り)県(基金)HPの企業名のご紹介と企業HPへのリンク、大学生等のインターンシップ事業の優先実施
30万円以上	・知事名の感謝状の贈呈 ☆(ものづくり・IT企業に限り)県等主催の面接会等への優先参加や大学生等の企業見学会の優先開催
3万円以上	・知事名の感謝状の贈呈 ・県(基金)HPに個人名・企業名のご紹介

登録企業制度について

ものづくり・IT企業の皆様が登録企業になりますと、採用する大学生等への奨学金返還支援額の上限が「3分の1」から「2分の1」にアップする優遇措置を受けることができます。

登録企業になるには、2口(60万円)の寄附をお願いします。この場合には1名につき「2分の1」の優遇措置を受けることができます。2名以上を対象としたい場合には、1名につき1口(30万円)の寄附の追加をお願いします。

寄附の特典等

寄附申込方法 岩手県商工労働観光部ものづくり自動車産業振興室までお問い合わせください。

お問い合わせ 岩手県 商工労働観光部 ものづくり自動車産業振興室 ☎019-629-5551
公益財団法人いわて産業振興センター 産業支援部 ☎019-631-3824

研修受講者募集のご案内

県内中小企業の人材を育成するため、企業の管理者・後継者・製造現場スタッフ等を対象に、各種研修を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

研修名	概要
工程改善基礎講座	作業効率向上等に対応した工程改善のポイントについて伝授し、改善取り組みへのきっかけづくりを行います。 テーマ 参加企業の現状分析と問題点のとらえ方、モデル作業の改善、改善を継続するポイント 講師 経営創研(株) 瀬良 昌宏 日程 平成29年8月3日・4日 会場 北上市・ホテルシティプラザ北上 受講料 1名につき10,000円(税込)
品質管理中級講座	最新の品質管理の進め方や、大手メーカーに対しても確実な品質保証ができるレベルの管理技法を指導します。 テーマ 品質管理の必要性・考え方、TQMの進め方、トラブル解決法・標準化、各種管理・検査手法 講師 経営創研(株) 豊田 順一 日程 平成29年10月17日・18日・19日 会場 北上市・北上オフィスプラザ 受講料 1名につき15,000円(税込)

- このほかのラインナップ
- 中堅マネージャー・後継者養成講座
 - 原価管理とコストダウン講座
 - ISO9001内部監査員養成講座
 - 生産管理講座

お問い合わせ 詳しい内容はホームページをご覧ください。申込書をダウンロードできます。
<http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu/>

岩手県労働委員会委員による 出前講座のお知らせ



よりよい労使関係を築くために

会議や研修会等にいかがですか？労働委員会の委員が講師として伺います。

講師派遣無料

県内ならどこでもOK

土日祝日も対応
※一部対応できない日あり

- 会議や研修会などの講師に、岩手県労働委員会の出前講座を是非御利用ください。
- 円滑な労使関係の構築に役立てていただくため、労働委員会の委員が、労働委員会で実際におきた事例等を交えながら、豊富な経験に基づき、労使関係で留意すべき点などについてお話しします。

出前講座の概要

※詳細はお問い合わせください。

テーマ	[よりよい労使関係を築くために～労働委員会を活用してみませんか～]等 ※御希望のテーマがありましたら御相談ください。
講師	岩手県労働委員会の委員 ※講師は労働委員会で選定させていただきます。
対象	岩手県内の経営者の団体・企業団体等の会議や研修会など(概ね10人以上で実施する集まり) ※ただし、実施の目的により対象外となる場合があります。
日程等	できる限り御希望に沿うよう調整しますので、御相談ください。
経費	講師派遣の費用はかかりません。(講師料・旅費は不要です。) ※会場は、申込者で準備願います。
申込方法	開催予定日の概ね1か月前までに岩手県労働委員会事務局にお申し込みください。

岩手県労働委員会はどういうところ？

岩手県労働委員会は、県庁の11階にある県の行政機関です。
公労使の三者構成で、中立公正な立場から労使紛争の解決をサポートします。本県の場合、公益を代表する者、労働者を代表する者、使用者を代表する者から各5人ずつ計15人で組織されています。

労働委員会の 主なしごと

- ・労働相談への対応
- ・個別労働関係紛争のあっせん(個々の労働者と使用者の紛争)
- ・労働争議の調整(労働組合と使用者の紛争)
- ・不当労働行為の審査(同上)

- 労働者委員
労働組合役員など
- 公益委員
弁護士、大学教授など
- 使用者委員
企業の経営者など

お問い合わせ

岩手県労働委員会事務局 ☎019-629-6276(直通) ☎019-629-6274
盛岡市内丸10番1号(岩手県庁11階) [岩手県労働委員会](#) [検索](#)

新価値創造展2017出展のご案内

新しいアイデアや技術を求める大企業・中堅企業等の研究開発、事業企画、マーケティング部門をはじめ、新製品やサービスの取り扱いを目指す企業等との連携構築、共創、ビジネスマッチングを目指す展示会です。
自社の強み、魅力を「新価値創造展2017」で発信し、共に新しい価値を創造しませんか？

テーマ
(出展対象分野)

- (1) Industry&Technology (生産技術/新素材/IoT/ロボット)
- (2) Health&Welfare (健康/予防/医療/介護)
- (3) Green&Community (環境/防災/社会・地域課題)

期間

平成29年11月15日(水)～17日(金)10:00～17:00

会場

東京ビッグサイト東7・8ホール(東京都江東区有明3-11-1)

出展企業

約500社(国内中小企業)(予定)

申込締切

平成29年7月24日(月)

出展料等の詳細はHPで!

[新価値創造展2017](#) [検索](#)

お問い合わせ

新価値創造展 事務局 〒106-0032 東京都港区六本木6-1-24 ラピロス六本木6F
☎03-5786-3170 ☎03-4243-2549 URL:<http://shinkachi.smrj.go.jp/tokyo/>
受付時間:9:30～12:00/13:00～18:30(土、日、祝日を除く)

ご利用下さい! 岩手県知財総合支援窓口

秘密厳守 相談無料

知的財産(=特許、実用新案、意匠、商標、著作権、ノウハウ・営業秘密など)のことがら岩手県知財総合支援窓口にお任せください!知的財産の「出願・登録」、「侵害対応」、「知的財産の管理」、「知的人材の育成」、「知的財産を活用した経営」など知的財産に関するすべての相談にワンストップで応じます。



知財専門家による無料相談会

知財専門家による定期窓口相談会及び各広域振興局管内での外部窓口相談会を行っています。

定期窓口相談会
会場 岩手県発明協会 (盛岡市北飯岡2-4-25 岩手県工業技術センター2階)
日時 毎週木曜日 午後1時から4時まで

無料相談申込み方法
相談を希望される方は、岩手県発明協会にお電話又はホームページをご覧ください。
お申込み方法等をご案内します。
岩手県知財総合支援窓口のホームページ(<http://www.iwate-hatsumei.org/chizai/>)にはお申込みのためのフォームも掲載しています。

外部窓口相談会(平成29年7月から9月までの開設分)

※いずれの会場も相談時間は午後1時から4時までです。

広域名	相談会場	開設日	担当弁理士
県北	県久慈地区合同庁舎	7月12日(水)	富沢知成(富沢特許事務所)
	県二戸地区合同庁舎	9月12日(火)	富沢知成(富沢特許事務所)
県南	花巻商工会議所	7月19日(水)	西澤利夫(西澤国際特許事務所)
	北上市基盤技術支援センター	8月2日(水)	齋藤昭彦(あきた知的財産事務所)
	県南技術研究センター	8月30日(水)	東田 潔(PDI特許商標事務所)
沿岸	奥州鋳物技術交流センター	9月20日(水)	村雨圭介(SANSUI国際特許事務所)
	宮古市産業支援センター	7月26日(水)	西澤利夫(西澤国際特許事務所)
	釜石・大槌地域産業育成センター	8月25日(金)	村雨圭介(SANSUI国際特許事務所)
	大船渡商工会議所	9月27日(水)	丸岡裕作(丸岡特許事務所)

岩手県発明協会 ☎019-634-0684 又は 全国共通ナビダイヤル ☎0570-082100
ご利用時間 9:00～17:15※12:00～13:00(休憩時間) 定休日 土・日、祝日、年末年始

岩手県知財総合支援窓口は、(独)工業所有権情報・研修館からの請負事業として、(一社)岩手県発明協会、(地独)岩手県工業技術センター、(公財)いわて産業振興センターが共同で運営しています。

平成29年度

おかげさまで「設備貸与」は50周年

設備貸与制度のご案内



長期

3年～10年

低利

年1.3%～1.7%

(固定金利) 東日本大震災で直接被災した企業は更に-0.1%

無担保

金融機関融資と別枠です

制度のしくみ

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。

区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)
貸付期間	3年～10年(導入設備耐用年数上限)(右記③を満たせば10年以内で2年延長可能)	3年～10年(導入設備耐用年数上限)(右記③を満たせば10年以内で2年延長可能)
貸付限度額(消費税含む)	100万円～1億円(右記①を満たせば2億円)	100万円～1億円(右記①を満たせば2億円)
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(中古・車両を除く)
保証金	貸与額の10%(右記①を満たせば5%)(最終償還時に返済)	———
利息(貸与損料)	年率1.30%～1.70%(固定金利)(お申込企業様の財務内容により決定)(右記②を満たせば-0.1%)	———
リース料(月額)	———	5年=1.867%(参考) 7年=1.389%(参考)
連帯保証人	法人:代表者1人 個人不要(経営者保証ガイドラインに準拠)	

① 次の企業は貸付限度額2億円及び保証金5%対応が可能です

- 1 中小企業等経営強化法に基づく計画認定企業(経営革新・異業種連携)
- 2 中小企業地域資源活用促進法に基づく事業計画認定企業
- 3 農商工等連携促進法に基づく事業計画認定企業
- 4 いわて希望ファンド、いわて農商工連携ファンド採択企業
- 5 自動車関連産業生産体制強化計画認定企業
- 6 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- 7 県内企業5社以上に下請発注している企業
- 8 県内企業への下請発注額が1,000万円以上の企業
- 9 今回の設備を設置することで6～8のいずれかに該当する企業

② 次の企業は適用利率から0.1%の引き下げ及び据置期間2年の対応が可能です

東日本大震災で設備又は事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

③ 次の企業は貸付期間について耐用年数プラス2年以内(最長10年)の対応が可能です

商工会及び商工会議所を経由して申込をした企業

※運賃・取付工事は貸付の対象となりますが、建物部分・基礎工事は対象外です。一部、対象とならない業種、設備がございますので詳しくはセンターにお問合せ下さい。

お問い合わせ 総務金融部 金融チーム ☎019-631-3821